

食品健康影響評価に係る資料の提出について

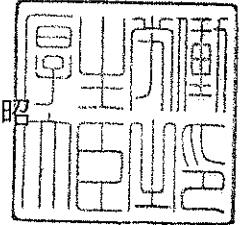
(平成 22 年 1 月 8 日付け厚生労働省発食安 0108 第 1 号)



厚生労働省発食安0108第1号
平成22年1月8日

食品安全委員会
委員長 小泉 直子 殿

厚生労働大臣 長妻 昭

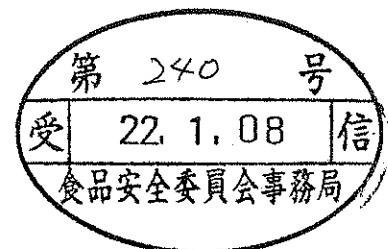


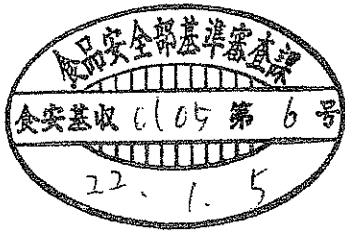
食品健康影響評価に係る資料の提出について

今般、下記品目について食品健康影響評価を依頼した際に提出した資料において、別紙のとおり誤記等があった旨の報告があったので該当資料を修正の上、提出いたします。

記

- ・ 除草剤グリホサート及びアセト乳酸合成酵素阻害剤耐性ダイズ (DP-356043-5)
(平成19年8月20日付け厚生労働省発食安第0820002号により食品健康影響評価を依頼、平成21年2月26日付け府食第183号により厚生労働大臣宛て食品健康影響評価の結果の通知)
- ・ 除草剤グリホサート及びアセト乳酸合成酵素阻害剤耐性トウモロコシ (DP-098140-6)
(平成21年2月23日付け厚生労働省発食安第0223003号により食品健康影響評価を依頼)
- ・ 高オレイン酸含有ダイズ (DP-305423-1)
(平成21年4月28日付け厚生労働省発食安第0428001号により食品健康影響評価を依頼)



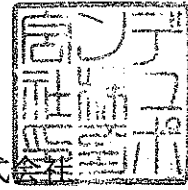


【別紙】

平成 22 年 1 月 5 日

厚生労働省医薬食品局食品安全部
基準審査課新開発食品保健対策室 御中

デュポン株式会社
代表取締役社長 天羽 稔



遺伝子組換え食品の安全性審査申請資料における誤記について

この度弊社におきまして既に提出しております遺伝子組み換え食品の安全性審査申請資料を見直したところ、下記のとおり誤記が判明いたしましたのでご報告致します。また、以下のとおり関係書類の内容の点検並びに誤記の原因の究明を行い、再発防止策を講じましたので併せてご報告致します。

1. 誤記のあった申請書及び該当箇所

- (1) 除草剤グリホサート及びアセト乳酸合成酵素阻害剤耐性ダイズ (DP-356043-5)
(別紙1参照)
- (2) 除草剤グリホサート及びアセト乳酸合成酵素阻害剤耐性トウモロコシ
(DP-098140-6)(別紙2参照)
- (3) 高オレイン酸含有ダイズ(DP-305423-1)(別紙3参照)

2. 原因

弊社では、科学的妥当性を担保するため、提出書類において信頼性の高い文献を複数引用しております。本報告書においても複数の文献を引用致しましたが、個々の値及び参照された科学的知見について引用文献を特定できるようにしていなかったため、本社における品質保証の過程において対象となる誤記を見つけることが出来ませんでした。また、日本においては申請資料作成時の確認作業を複数人で行っていましたが、同様の理由により誤記を見つけることが出来なかったことに加え、参照した科学的知見の内容及び参照箇所が正しく結論されていることを最終版で再確認していなかったため、誤った内容のまま提出してしまいました。

3. 再発防止策

- (1) 試験報告書の確認については本社における複数者(試験報告書の作成者及び品質保証部門)が行います。また、申請関係書類については日本において申請担当

者及び確認者が確認作業をチェックリストを用いてそれぞれ複数回重ねて行うとともに、申請責任者は確認・修正作業が担当者及び確認者により手順通り行われたことを口頭報告ではなく、担当者の責任を明確にするため紙面により確認致します。

- (2) 今後は、複数の文献値を参照することにより、誤記が生じる可能性が高まることから、単独の文献で必要なデータセットを網羅できる場合は、出来るだけ引用文献数を限定し、引用の誤りを防ぎます。また、文献値の転記ミスを防止するため、個々の文献値に対し引用文献を特定できるように、脚注を付記致します。
- (3) 申請書において科学的知見の根拠として参照した論文に関し、その内容が論文に即していること、また、参照箇所が正しく記載されていることを日本において複数の担当者が確認致します。

申請書の誤記に関し、ご迷惑をお掛け致しましたことを深くお詫び申し上げます。また、今後ともご指導ご鞭撻を賜りたく、何卒よろしくお願い致します。

要旨中の 訂正箇所	誤 (訂正前)	正 (訂正後)	備考
2 ページ、表 1			各表中の文献値に脚注の引用番号を追記致しました。脚注も併せて変更致しました。
2 ページ、表 1 (タンパク質)	33.2 - 47.4	32 - 45.5	文献値に誤記があったため、正しい値に訂正致しました。
(脂質)	8.10 - 23.6	8.10 - 24.7	
(粗繊維分)	4.12 - 10.9	4.12 - 13.9	
(灰分)	3.89 - 6.54	3.89 - 6.99	
3 ページ、表 2			各表中の文献値に脚注の引用番号を追記致しました。脚注も併せて変更致しました。
3 ページ、表 2 (イソフラボン類)	(ダイジン、ゲニスチン、グリシチン)	(ゲニスチン(グルコシドゲニスチン)、マロニルゲニスチン(マロニルグルコシドゲニスチン)、アセチルゲニスチン(アセチルグルコシドゲニスチン)、ゲニスチン、ダイジン(グルコシドダイゼイン)、マロニルダイジン(マロニルグルコシドダイゼイン)、アセチルダイジン(アセチルグルコシドダイゼイン)、ダイゼイン、グリシチン(グルコシドグリシチン)、マロニルグリシチン(マロニルグルコシドグリシチン)、アセチルグリシチン(アセチルグルコシドグリシチン)、グリシチン)	分析項目名を全て掲載し、各項目名について注釈を追記致しました。併せて、脚注も変更致しました。
3 ページ、表 2 (トリプシンインヒビター)	TIU/mg タンパク質	TIU/mg 乾物重	単位表記に誤りがあったため、訂正致しました。
(レクチン)	HU/mg タンパク質	HU/mg 乾物重	
(ダイジン)	0.7	13.1	文献値に誤記があったため、正しい値に訂正致しました。
(グリシチン)	0.6	1.1	
(フィチン酸)	0.63-1.96	0.63 -2.74	
(脚注)	Kim <i>et al.</i> (2004)	Kim <i>et al.</i> (2005)	文献の引用に誤りがあったため、正しい文献に差し替えました。
17 ページ、2 段落目	構造相同性の比較では、経験的に、 <i>E</i> value の閾値は 0.0001~0.01 が用いられているが、限られた相同性であっても見落とすことのないように、本解析には閾値 1.0 を用いた。(Pearson, 2000)。	構造相同性の比較では、経験的に、 <i>E</i> -value の閾値は 0.001~0.01 が用いられているが、(Pearson, 2000)、限られた相同性であっても見落とすことのないように、本解析には閾値 1.0 を用いた。	閾値の下限值に誤りがあったため、訂正致しました。

要旨中の 訂正箇所	誤 (訂正前)	正 (訂正後)	備考
80 ページ、表 11			各表中の文献値に脚注の引用番号を追記致しました。脚注も併せて変更致しました。
80 ページ、表 11 (タンパク質)	33.2 - 47.4	32 - 45.5	文献値に誤記があったため、正しい値に訂正致しました。
(脂質)	8.10 - 23.6	8.10 - 24.7	
(粗繊維分)	4.12 - 10.9	4.12 - 13.9	
(灰分)	3.89 - 6.54	3.89 - 6.99	
81~82 ページ、表 12 (ラウリン酸 C12:0)	0.0820 - 0.132	0.082 - 0.132	文献値に誤記があったため、正しい値に訂正致しました。
(ミリスチン酸 C14:0)	0.0710 - 0.238	0.071 - 0.238	
(ミリストレイン酸 C14:1)	NR	0.121 - 0.125	
(パルミチン酸 C16:0)	7.00 - 12.7	7 - 15.8	
(パルミトレイン酸 C16:1)	0.0860 - 0.159	0.086 - 0.194	
(ヘプタデカン酸 C17:0)	0.0850 - 0.138	0.085 - 0.146	
(ヘプタデセン酸 C17:1)	0.0730 - 0.0870	0.073 - 0.087	
(ステアリン酸 C18:0)	2.00 - 5.71	2 - 5.88	
(オレイン酸 C18:1)	14.3 - 34.0	14.3 - 34	
(リノール酸 C18:2)	48.0 - 60.0	42.3 - 60	
(リノレン酸 C18:3)	2.00 - 12.5	2 - 12.5	
(アラキジン酸 C20:0)	0.000 - 1.00	0.163 - 0.482	
(エイコセン酸 C20:1)	0.140 - 0.316	0.140 - 0.350	
(エイコサジエン酸 C20:2)	0.0770 - 0.245	0.077 - 0.245	
(ベヘン酸 C22:0)	0.277 - 0.571	0.277 - 0.595	
81~82 ページ、表 12			各表中の文献値に脚注の引用番号を追記致しました。脚注も併せて変更致しました。
84 ページ、4 行目	4.3g (豆類)	4.2g (大豆・加工品)	国民健康栄養調査 (H16) より数値の誤引用 (豆類の数値を大豆加工品の数値 (内数) と誤り) があったため、正しい数値に訂正致しました。また、併せて計算結果を修正致しました。
84 ページ、7 行目	9.5mg と 5.3mg (ヘプタデカン酸及びヘプタデセン酸の一日摂取量の増加分)	9.3mg と 5.2mg	
84 ページ、1 段落目、 84 ページ、3 段落目、	0.018% (総脂肪酸中でヘプタデカン酸の占める割合。ヘプタデセン酸については変更なし)	0.017%	
87~88 ページ、表 16 (トリプトファン)	0.356 - 0.540	0.356 - 0.67	文献値に誤記があったため、正しい値に訂正致しました。
(トレオニン)	1.25 - 1.89	1.14 - 1.89	
(バリン)	1.50 - 2.44	1.5 - 2.44	
(ロイシン)	2.20 - 4.00	2.2 - 4.0	
(アルギニン)	2.29 - 3.36	2.29 - 3.49	
(フェニルアラニン)	1.60 - 2.24	1.6 - 2.35	
(アラニン)	1.51 - 1.87	1.49 - 2.10	
(セリン)	1.63 - 2.48	1.11 - 2.48	

要旨中の 訂正箇所	誤 (訂正前)	正 (訂正後)	備考
87～88 ページ、表 16			各表中の文献値に脚注の引用番号を追記致しました。脚注も併せて変更致しました。
95 ページ、表 21、脚注 8	比重を 1 として、c の一日摂取量を算出した (hypertext, 2007)。	比重を 1 として、c の一日摂取量を算出した。	本論文を引用していなかったため削除致しました。
97 ページ、表 22			各表中の文献値に脚注の引用番号を追記致しました。脚注も併せて変更致しました。
97 ページ、表 22 (鉄)	0.00554-0.0109	0.00554 -0.0110	文献値に誤記があったため、正しい値に訂正致しました。
98 ページ、表 23			各表中の文献値に脚注の引用番号を追記致しました。脚注も併せて変更致しました。
98 ページ、表 23 (α -トコフェロール)	4.70-6.17	NR	文献値に誤記があったため、正しい値に訂正致しました。
100 ページ、表 24			各表中の文献値に脚注の引用番号を追記致しました。脚注も併せて変更致しました。
100 ページ、表 24 (マロニルゲニスチン)	6.0	136	文献値の下限値に誤記があったため、正しい数値に訂正致しました。
(ゲニステイン)	0.1	0.5	
(ダイジン)	0.7	13.1	
(マロニルダイジン)	0.9	61.9	
(アセチルダイジン)	NR	ND	
(グリシチン)	0.6	1.1	
(マロニルグリシチン)	0.3	6.6	
(アセチルグリシチン)	NR	ND	
(グリシテイン)	NR	ND	
(脚注)	Kim <i>et al.</i> (2004)	Kim <i>et al.</i> (2005)	文献の引用に誤りがあったため、正しい文献に差し替えました。
101 ページ、表 25 (フィチン酸)	0.634 - 1.96	0.634 -2.74	文献値の上限値に誤記があったため、正しい数値に訂正致しました。

要旨中の 訂正箇所	誤 (訂正前)	正 (訂正後)	備考
101 ページ、表 25			各表中の文献値に脚注の引用番号を追記致しました。脚注も併せて変更致しました。
105 ページ、下から 1 段落目	0.018% (総脂肪酸中でヘプタデカン酸の占める割合。ヘプタデセン酸については変更なし)	0.017%	国民健康栄養調査 (H16) より数値の誤引用 (豆類の数値を大豆加工品の数値 (内数) と誤り) があったため、計算結果を修正致しました。
108 ページ、上から 8 段落目	ILSI. 2004. ILSI Crop Composition Database Version 3.0. International Life Sciences Institute, Washington, DC, http://www.cropcomposition.org/ .	ILSI. 2006. ILSI Crop Composition Database Version 3.0. International Life Sciences Institute, Washington, DC, http://www.cropcomposition.org/ .	文献の引用に誤りがあったため、正しい文献に差し替えました。
108 ページ、下から 2 段落目	Kim, S., Jung, W., Ahn, J., Kim, J. and Chung, I., 2005. Quantitative analysis of the isoflavone content and biological growth of soybean (<i>Glycine max</i> L.) at elevated temperature, CO ₂ level and N application. <i>Journal of Science of Food and Agriculture</i> . 85: 2557-2566.	Kim, S.H., Jung, W.S., Ahn, J.K., Chung, I.M., 2005. Analysis of isoflavone concentration and composition in soybean [<i>Glycine max</i> (L.)] seeds between the cropping year and storage for three years. <i>European Food Research and Technology</i> 220(2): 207-214.	文献の引用に誤りがあったため、正しい文献に差し替えました。
108 ページ	Hypertext. 2007. Density of Milk. Density of Beer. http://hypertextbook.com/facts/2002/AliciaNoelleJones.shtml	(削除)	本論文を引用していなかったため削除致しました。
109 ページ、上から 3 行目	国民栄養の現状. 2005. 平成 16 年国民健康・栄養調査報告. 厚生労働省.	国民栄養の現状. 2006. 平成 16 年国民健康・栄養調査報告. 厚生労働省.	発行年に誤りがあったため、訂正致しました。
114 ページ、添付資料 17	PHASE REPORT TITLE : Nutrient Composition Analysis of the Soybean Line DP-356043-5: U.S. and Canada Locations (PHASE REPORT NUMBER: PHI-2005-056/020).	Amended PHASE REPORT TITLE : Nutrient Composition Analysis of the Soybean Line DP-356043-5: U.S. and Canada Locations (PHASE REPORT NUMBER: PHI-2005-056/020).	文献の引用に誤りがあったため、正しい文献に差し替えました。また、併せて添付資料 17 も差し替えを致しました。
別紙 4			文献値に誤記があったため、正しい値に訂正致しました。また、試験報告書を新たに添付致しました。

該当部分の正誤表① 除草剤グリホサート及びアセト乳酸合成酵素阻害剤
耐性トウモロコシ (DP-098140-6)

要旨中の 訂正箇所	誤 (訂正前)	正 (訂正後)	備考
2 ページ、表 1 及び 2 の脚注*			各文献値に引用文 献を追記し、脚注 も併せて変更致し ました。
2 ページ、表 2 (フルフラール)	0 - 0.000634	0.0003 - 0.000634	文献値に誤記があ ったため正しい値 に訂正致しまし た。
6 ページ、13 行目	中国 (1 億 1,830 万ト ン、約 15%)	中国 (1 億 5,200 万ト ン、約 19%)	旧数値より更新さ れていたもので、訂 正致しました。
45 ページ、下から 13 行目及び 66 ペ ージ、上から 4 行 目	FARRP. 2008.	FARRP. 2007.	年号に誤りがあっ たため訂正致しま した。
76~80 ページ、表 9~11 の脚注			各文献値に引用文 献を追記し、脚注 も併せて変更致し ました。
77~78 ページ、表 10 の脚注	CODEX (2001)	CODEX (2005)	「文献値の範囲」 に引用した文献に 誤りがあったた め、正しい論文に 差し替えました。

該当部分の正誤表② 除草剤グリホサート及びアセト乳酸合成酵素阻害剤
耐性トウモロコシ (DP-098140-6)

要旨中の 訂正箇所	誤 (訂正前)	正 (訂正後)	備考
77～78 ページ、表 10			文献値に誤記があ ったため正しい値 に訂正致しまし た。
(カプリン酸 C10:0)	NR	ND	
(ラウリン酸 C12:0)	0 - 0.687	ND - 0.687	
(ミリスチン酸 C14:0)	0 - 1.0	ND - 0.3	
(パルミトレイン酸 C16:1)	0 - 1	ND - 1	
(ヘプタデカン酸 C17:0)	0 - 0.111	ND - 0.111	
(ヘプタデセン酸 C17:1)	0 - 0.1	ND - 0.1	
(アラキジン酸 C20:0)	0 - 2	0.1 - 2	
(エイコセン酸 C20:1)	0 - 1.92	0.170 - 1.92	
(エイコサジエン酸 C20:2)	0 - 0.533	ND - 0.533	
(エイコサトリエン酸 C20:3)	NR	0.275	
(アラキドン酸 C20:4)	NR	0.465	
(ベヘン酸 C22:0)	0 - 0.5	ND - 0.5	
(エルシン酸 C22:1)	0 - 0.3	ND - 0.3	
(リグノセリン酸 C24:0)	0 - 0.5	ND - 0.5	
78 ページ	表 11	表 10	表番号に誤記があ ったため、正しい 番号に訂正致しま した。
84～86 ページ、表 14～16 の脚注 2)			各文献値に引用文 献を追記し、脚注 も併せて変更致し ました。
84 ページ、表 14			文献値に誤記があ ったため正しい値 に訂正致しまし た。
(カルシウム)	0.00127 - 0.100	0.00127 - 0.1	
(鉄)	0.0001 - 0.010	0.0001 - 0.01	
(リン)	0.147 - 0.750	0.147 - 0.75	
(カリウム)	0.181 - 0.720	0.181 - 0.72	
(ナトリウム)	0 - 0.150	0 - 0.15	

該当部分の正誤表③ 除草剤グリホサート及びアセト乳酸合成酵素阻害剤
耐性トウモロコシ (DP-098140-6)

要旨中の 訂正箇所	誤 (訂正前)	正 (訂正後)	備考
85 ページ、表 15 パントテン酸	・分析項目：パント テン酸 (mg/100g) ・DP-098140-6 の測 定値及び分析値の範 囲：0.582、0.431－ 0.830 ・非組換えトウモロ コシの測定値及び分 析値の範囲：0.566、 0.420－0.761	・分析項目：パント テン酸 ・DP-098140-6 の測 定値及び分析値の範 囲： <u>5.82、4.31</u> － <u>8.30</u> ・非組換えトウモロ コシの測定値及び分 析値の範囲： <u>5.66、</u> <u>4.20</u> － <u>7.61</u>	単位を他の分析項 目に合わせて修正 致しました。
85 ページ、表 15 (α -トコフェロール)	1.50 - 68.7	NR	文献値に誤記があ ったため正しい値 に訂正致しまし た。
85 ページ、表 15、 脚注 4)	定量限界以下	定量限界未満	誤記があったため 修正致しました。
86 ページ、表 16 (フルフラール)	0 - 0.000634	0.0003 - 0.000634	文献値に誤記があ ったため正しい値 に訂正致しまし た。
(イノシトール)	0.00890 - 0.377	0.0089 - 0.377	
92 ページ、表 17 の脚注 11)	比重を 1 として、一 日摂取量を算出した (hypertext, 2007)。	比重を 1 として、一 日摂取量を算出し た。	本論文を引用して いなかったため、 削除致しました。
97 ページ、参考文 献リスト【C】の欄 下から 2 段落目	CODEX. 2001. Report of the Seventeenth Session of the Codex Committee on Fats and Oils (ALINORM 01/17), 2001, United Kingdom.	[CAC] Codex Alimentarius Commission..... Standard for named vegetable oils. CODEX STAN 210-1999: 2005	「文献値の範囲」 に引用した文献に 誤りがあったた め、正しい論文に 差し替えました。 さらに添付資料 22 を差し替えまし た。
102 ページ、参考文 献リスト【F】の欄 1 段落目	Searched on September 22, 2007	Searched on September 1, 2008	検索を行った日付 に誤りがありまし たので訂正致しま した。
102 ページ、参考文 献リスト【F】の欄 3 段落目	FARRP. 2008.	FARRP. 2007.	年号に誤りがあ ったため訂正致しま した。

該当部分の正誤表④ 除草剤グリホサート及びアセト乳酸合成酵素阻害剤
耐性トウモロコシ (DP-098140-6)

要旨中の 訂正箇所	誤 (訂正前)	正 (訂正後)	備考
102 ページ、参考文献リスト【H】の欄	【H】 Hypertext. 2007. Density of Milk. Density of Beer.(http://hypertextbook.com/facts/2002/AliciaNoelleJones.shtml) (http://hypertextbook.com/facts/2000/BlairElefant.shtml)	削除	本論文を引用していなかったため、削除致しました。
107 ページ、添付資料 22	PHASE REPORT TITLE : Nutrient Composition of Maize GAT Event DP-098140-6: US and Canada Locations (PHASE REPORT NUMBER: PHI-2006-038/020)	Amended PHASE REPORT TITLE : Nutrient Composition of Maize GAT Event DP-098140-6: US and Canada Locations (PHASE REPORT NUMBER: PHI-2006-038/020)	文献の引用に誤りがあったため、正しい文献に差し替えました。また、併せて添付資料 22 も差し替えを致しました。
107 ページ、添付資料 26	STUDY TITLE : Agronomic Characteristics, Expressed Trait Protein Concentration, and Nutrient Composition of a Maize GAT Event DP-098140-6 : U.S. and Canada Locations (PHASE REPORT NUMBER: PHI-2006-038/002, PHI-2006-038/021).	Amended STUDY TITLE : Agronomic Characteristics, Expressed Trait Protein Concentration, and Nutrient Composition of a Maize GAT Event DP-098140-6 : U.S. and Canada Locations (PHASE REPORT NUMBER: PHI-2006-038/002, PHI-2006-038/021).	文献の引用に誤りがあったため、正しい文献に差し替えました。また、併せて添付資料 26 も差し替えを致しました。
別紙 3			文献値に誤記があったため正しい値に訂正致しました。また、試験報告書を新たに添付致しました。

該当部分の正誤表① 高オレイン酸含有ダイズ (DP-305423-1)

要旨中の 訂正箇所	誤 (訂正前)	正 (訂正後)	備考
2～3 ページ、表 1～2			各表中の文献値に脚注の引用番号を追記致しました。脚注も併せて変更致しました。
	ILSI (2004)。	ILSI (2006)。	引用した文献の年号に誤りがあったため、正しい年号に修正致しました。
3 ページ、表 2	(TIU ²⁾ /mg タンパク質) (HU ³⁾ /mg タンパク質)	(TIU ²⁾ /mg 乾物重) (HU ³⁾ /mg 乾物重)	単位表記に誤りがあったので、訂正致しました。
3 ページ、表 2 (イソフラボン類)	(ダイジン、ゲニスチン、グリシチン)	(ゲニスチン (グルコシドゲニステイン)、ゲニステイン、アセチルゲニスチン (アセチルグルコシドゲニステイン)、マロニルゲニスチン (マロニルグルコシドゲニステイン)、ダイジン (グルコシドダイゼイン)、ダイゼイン、マロニルダイジン (マロニルグルコシドダイゼイン)、アセチルダイジン (アセチルグルコシドダイゼイン)、グリシチン (グルコシドグリシチン)、グリシチン、マロニルグリシチン (マロニルグルコシドグリシチン)、アセチルグリシチン (アセチルグルコシドグリシチン))	分析項目名を全て掲載し、各項目名について注釈を追記致しました。併せて、脚注も変更致しました。

該当部分の正誤表② 高オレイン酸含有ダイズ (DP-305423-1)

要旨中の 訂正箇所	誤 (訂正前)	正 (訂正後)	備考
3 ページ、表 2 (脚注) 111 ページ、表 28 (脚注)	Kim <i>et al.</i> (2004)	Kim <i>et al.</i> (2005)	引用した文献の年号に誤りがあったため、正しい年号に修正致しました。
7 ページ、下から 2 段落目	米国の生産量は、総生産量の約 40%にあたる約 8,800 万トンであり (FAOSTAT, 2007)	米国の生産量は、総生産量の約 40%にあたる約 8,350 万トンであり (FAOSTAT, 2007)	数値に誤りがあったため、訂正致しました。
98~99 ページ、表 20~21			各表中の文献値に脚注の引用番号を追記致しました。脚注も併せて変更致しました。
98~99 ページ、表 20~21	ILSI (2004)。	ILSI (2006)。	引用した文献の年号に誤りがあったため、正しい年号に修正致しました。
102 ページ、5 行目	エイコサジエン酸 (C20:2) の場合、文献データはなく、また検出限界未満の値が多いため許容値も設定できないため、FDR (False Discovery Rate) ^⑧ を考慮した統計処理を行った結果、統計学的有意差は認められなかった。	エイコサジエン酸 (C20:2) の場合、検出限界未満の値が多いため許容値も設定できないため、FDR (False Discovery Rate) ^⑧ を考慮した統計処理を行った結果、統計学的有意差は認められなかった。	文献値に誤りがあったため、要旨中の文章を訂正致しました。
103 ページ、表 22 エイコサトリエン酸 (C20:3)	文献値の範囲: 0.077 - 0.245	文献値の範囲: NR	
103 ページ、表 22 (アラキジン酸 C20:0)	0 - 1	0.163 - 0.482	文献値に誤記があったため、正しい値に修正致しました。
103~104 ページ、表 22			各表中の文献値に脚注の引用番号を追記致しました。脚注も併せて変更致しました。
104 ページ、表 22 エイコサジエン酸 (C20:2)	文献値の範囲: NR	文献値の範囲: 0.077 - 0.245	文献値に誤りがあったため、要旨中の文章を訂正致しました。

該当部分の正誤表③ 高オレイン酸含有ダイズ (DP-305423-1)

要旨中の 訂正箇所	誤 (訂正前)	正 (訂正後)	備考
104 ページ、表 22	ILSI (2004)。	ILSI (2006)。	引用した文献の年号に誤りがあったため、正しい年号に修正致しました。
106～111 ページ、表 24 ～28			各表中の文献値に脚注の引用番号を追記致しました。脚注も併せて変更致しました。
107～110 ページ、表 24 ～27	ILSI (2004)。	ILSI (2006)。	引用した文献の年号に誤りがあったため、正しい年号に修正致しました。
111 ページ、表 28 (アセチルダイジン)	NR	ND	文献値に誤りがあったため、要旨中の文章を訂正致しました。
(グリシテイン)	NR	ND	
(アセチルグリシチン)	NR	ND	
(脚注)	Kim <i>et al.</i> (2004)	Kim <i>et al.</i> (2005)	引用した文献の年号に誤りがあったため、正しい年号に修正致しました。
116 ページ、下から 2 段落目	Kim, S.; Jung, W.; Ahn, J.; and Chung, I., 2004, Analysis of Isoflavone Concentration and Composition in Soybean [<i>Glycine max</i> (L.)] Seeds Between the Cropping Year and Storage for Three Years, <i>European Food Research and Technology</i> , vol. 220, No. 2, February 2005, pp. 207-214, 2004.	Kim SH, Jung WS, Ahn JK, Chung IM. Analysis of isoflavone concentration and composition in soybean [<i>Glycine max</i> (L.)] seeds between the cropping year and storage for three years. <i>European Food Research and Technology</i> 2005; 220(2): 207-214.	引用した文献の年号に誤りがあったため、正しい年号に修正致しました。

該当部分の正誤表④ 高オレイン酸含有ダイズ (DP-305423-1)

要旨中の 訂正箇所	誤 (訂正前)	正 (訂正後)	備考
120 ページ、参考ウ ェブサイト 【I】 の 欄	ILSI. 2004. ILSI Crop Composition Database Version 3.0. International Life Sciences Institute, Washington, DC, http://www.cropcomposition. org/ .	ILSI. 2006. ILSI Crop Composition Database Version 3.0. International Life Sciences Institute, Washington, DC, (http://www.cropcomposition. org/).	引用した文献の年号に 誤りがあったため、正 しい年号に修正致しま した。
123 ページ、添付資 料 15	PHASE REPORT TITLE : Nutrient Composition Analysis of Soybean Line DP-305423-1: U.S. and Canada Locations (PHASE REPORT NUMBER: PHI-2005-002/020).	<u>Amended</u> PHASE REPORT TITLE : Nutrient Composition Analysis of Soybean Line DP-305423-1: U.S. and Canada Locations (PHASE REPORT NUMBER: PHI-2005-002/020).	文献値に誤りがあった ため、追補版添付資料 15 を提出致します。
別紙 5			文献値に誤りがあった ため、訂正致しました。 また、試験報告書の差 し替えを致しました。